

レジストリ・レジストラ 関連状況報告

第75回ICANN報告会:2026年4月23日(木)
株式会社インターリンク
JACOB WILLIAMS



85 | COMMUNITY FORUM

MUMBAI

<https://meetings.icann.org/en/meetings/icann85/herobanner.png>



ICANN85 Community Forum: レジストリ・レジストラ関連報告

インド・ムンバイ / 2026年3月7日～12日



GNSO: RrSG Membership Meeting –(レジストラ部会) × 3つのセッション



GNSO: RySG Membership Meeting –(レジストリ部会) × 4つのセッション



その他の参加セッション:

CPH, DNS Abuse PDP × 4つのセッション, 2026 Round × 7つのセッション等

レジストリ・レジストラ部会話題



レジストラ部会の主要な話題

- DNS Abuse PDP1 (ADC)
- SSAD / Rec 18 / 緊急リクエスト
- PPSAI IRT
- 2026ラウンド(レジストラ視点の懸念)
- レジストラポータル



レジストリ部会の主要な話題

- DNS Abuse PDP1 (ADC)
- SSAD / Urgent Requests
- Base RA承認
- GeoTLDグループ AI検索調査

レジストリ・レジストラ共通

レジストリ・レジストラ共通



DNS Abuse PDP1 : Associated Domain Checks (1/2)

- 2026年1月チャーター承認、ICANN85で正式キックオフ(全4セッション)
- 主要課題: アビュース報告されたドメインへの対応義務はあるが、同一登録者の他ドメイン調査義務なし → このギャップを埋めるPDPを実施。
- 9つのチャーター質問で範囲を意図的に狭く設定。
- PDP2(次のAbuse PDP)はPDP1完了後に開始(逐次方式を堅持)
 - PDP2のテーマはまだ未確定(API関連の見込み)。

レジストリ・レジストラ共通



DNS Abuse PDP1: Associated Domain Checks (2/2)

- CPH暫定文案(ストロマン)がWGで好意的に受け止められた
 - Associated Domain Name CheckをTriggerするのはなにか？
 - RAA 3.18.2に基づく「検証済み・実行可能なDNS Abuse報告があった場合」にADCを実施
 - 「is being used」基準を採用(保守的な最低基準。より広い基準はスコープ外と主張)
- スコープ管理が最重要課題:一部WGメンバーが範囲拡大を試みるが、CPHは「チャーターのどこにあるか？」で対抗する方針。
- タイムライン議論: Initial Report 2027年2月/GNSO 2027年Q4の計画に対して:
 - ↓
 - GAC・BCから「長すぎる」との声が上がっています。
 - CPH側:「ボランティア参加で週4時間は非現実的」と反論。

レジストリ・レジストラ共通



DNS Abuse PDP1: 会場の声

「DNS濫用は減るところか、日々増加している。可能な限りタイムラインを見直し、短縮していただきたい。」

"DNS abuse is not going down, it's increasing on a daily basis. I would request you to please re-look at the timelines and compress them wherever we can."

—BC

「GACとして、この作業には高い期待を寄せている。極めて限定的なスコープで、非常に迅速なPDPになり得ると聞いているからだ。」

"As a GAC, we have a high expectation for this work, because we have been told this is a very narrowly scoped and could be a very fast PDP."

—GAC / European Commission

※タイムライン短縮圧力 vs. ボランティア負担 — 立場の対立が鮮明に

レジストリ・レジストラ共通



DNS Abuse PDP1: レジストラ部会からのコメント

「我々はボランティアであり、本業を別に持っている。意思決定には時間がかかるが、プロセスには理由がある——合議で決定し、業界全体で長く持続させるためだ。『遅すぎる』と言われても笑顔で受け流さず、この立場を守るべきだ。急ぐより、正しく決めることを優先したい。」

"We're volunteers. We all have day jobs... The process is there for a reason — to make decisions collegially, for them to last. We need to defend that position, and stop smiling when people say we're too slow." / "I would much rather get this right than go fast."

—RrSG GAC Liaison

「急ぐこと」と「効率的に進めること」は別物。マイクロ／ターゲットPDPでは、期限を短縮するからではなく、スコープが狭いから自然と速く進むべき。

—Tucows/Namecheap

レジストリ・レジストラ共通



登録データ / SSAD / 緊急リクエスト (1/2)

- SSAD非採択の方向性: 理事会はOption 1(実装ベースで認証を処理)に傾いている。
- 緊急リクエスト(Urgent Requests)のポリシー言語:
 - 2025年10月公表、2026年1月パブコメ終了。言語自体は準備完了。
 - Registration Data Policy に組み込む形で公表予定 → ただし認証メカニズムが未整備。
- GNSO Councilは「ハイブリッド案」に収束中: タイムラインを先に公表し、認証はSSAD補完勧告プロセスで処理。
- 4月のGNSO Council会議で方針決定の見込み。

レジストリ・レジストラ共通



登録データ / SSAD / 緊急リクエスト (2/2)

- 「Authenticated Requestor」定義(提案 § 3.9)が争点:
 - 「law enforcement requestor or trusted/competent authority」の文言
 - RrSGはLEA以外への範囲拡大("Scope Creep")を強く警戒
 - 認証 ≠ 自動開示。管轄法に基づく裁量は維持。
- RrSGの視点(Tucows):「もっとポリシーが必要なのではない。プロセスに従うべき。」アドホックグループがICANNプロセス外で実装を進めている問題を指摘。
- RySGの視点(Verisign): ICANN作成の認証システムへの統合義務は「ポリシー」で明記すべき。実装に委ねるべきではない。
- GAC側との温度差: GACはスピード重視。CPHはデュープロセスと正確性を重視。

レジストリ・レジストラ共通



ICANN85レジストラ会合：2026ラウンドの受け止め

- レジストラのほとんどは2026ラウンドの新TLD発売開始フェーズを待っている。TMCH(商標クリアリングハウス)および権利保護メカニズム(RPM)の改定・変更が実運用にどう影響するか注目している。
- ICANNから「Happy Path」のDelegation(委任)時期は2028年初頭の見込み。
 - **Happy Path** = 競合・異議申立て・GAC早期警告／助言がなく、問題なく手続きが進む申請者
 - つまり最速ケースでも委任は2028年初頭、複雑案件はさらに後倒しの想定。

レジストリ・レジストラ共通



2026ラウンド:レジストリ・レジストラ視点の論点

- レジストリ部会では主にBase RA(基本レジストリ契約)アップデート関連の報告がありました。
- Base RAは3月12日に理事会承認 → ラウンド進行の最大の前提条件がクリア。
- 2024年レジストリ契約からの変更点は3つのカテゴリーに整理(RySG会合より):
 - ① SubPro最終報告書のポリシー勧告
 - ② 2012年以降の運用経験の反映
 - ③ 契約文言のリフレッシュ
- **仕様(Specification)の改定**:.brand、バリエーションTLD、Registry Voluntary Commitments (RVC's)、コミュニティTLDに関する仕様を更新。

レジストリ・レジストラ共通

...



Base RA: 主な運用・契約上の変更点

- **COI(継続運用手段)の廃止**: 例えば、Letter of Credit (LOC またはL/C) 約5~7万ドルの銀行信用状やエスクローデポジットの要件を撤廃。
- **EBEROの改善**: Spec 10の閾値に達した場合、レジストリ事業者自身がEBERO (緊急バックエンドレジストリ運用者) プロセスを発動可能に (従来はICANNのみ)。
 - Spec 5の必須名のみでそれ以外の登録がないTLDは、少数の登録を新バックエンドへ移行する代わりにICANNがルートから削除可能に
- **委任タイムライン**: 契約締結から12か月以内にTLDの委任を受けることが必須。

レジストリ・レジストラ共通

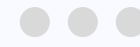


Base RA: その他の変更点

- **2文字ドメイン名**: ICANNへの個別許可申請なしにリリース可能に(RA内の所定条項に従う)。
- **プロモーション登録枠**: レジストリ運用・販促目的の自社登録が100件(2012年)から500件に拡大。ただし運用者名義での登録・手数料支払(1件25セント、または適用手数料)が必須。
- **WHOIS → RDAP**: 契約文書中のWHOIS参照をすべてRDAPに置換。

レジストリ部会 (RYSG)

レジストリ部会 (RYSG)



RySG注目トピック

- PPSAI IRT: 要求フローの整理段階。「リセラー」と「アフィリエイト」の法的区別が争点。「knowingly」問題でICANN Orgの指針待ち → 4月まで休会
- BRG (Brand Registry Group) : .brand申請者向けのExtended Evaluation基準の不透明性、非公開企業への財務情報開示要求等の懸念を継続提起(前回ICANN84から)。
 - BRGでは Sky (.sky) がフィッシング対策インフラとしての.brand活用事例を発表:「.sky以外からのメールは当社からのものではない」と顧客に訴求する戦略
 - 2012年以降の最大の変化: セキュリティとトラストが.brandの主要価値に(ブランドマーケティングから防御インフラへシフト)

レジストリ部会 (RYSG)



RySG注目トピック

- GeoTLDグループ: AI検索可視性調査
 - .CAT主導・11 TLD参加のICANN助成研究
(23か月、研究パートナー: Human Level)
 - 従来型検索エンジン(Google)とAI検索(ChatGPT・Perplexity・Mistral)の2部構成で、GeoTLDの可視性を競合TLDと定量比較
 - 結果が不利な場合はGeoTLDグループとしてAI企業に集団的に改善要請の方針(前例: .CATがGoogleにカタルーニャ語ランキング問題を是正させた実績)
 - 最終報告2026年9月 → ICANN2027リスボン会合で発表予定。

レジストラ部会 (RRSG)

レジストラ部会 (RRSG)



RrSG注目トピック

- メンバーポータル:
 - 83%利用中。
 - 56%が良好な体験と回答。
 - 37%が必要な情報を見つけられるか不明と回答。
- GDPR/プライバシーポリシー未整備問題あり、部会内で対応中。
- 今後の改善:レジストラ向けの詳細なドキュメントおよびユーザーガイドの整備。

レジストラ部会 (RRSG)



RrSG注目トピック

- DNS Abuse PDP2:
 - 一部の評議会メンバーは、PDP1の完了を待たずに今からPDP2の憲章（チャーター）の起草を開始したいと考えている。
 - 会場の総意：PDP2を開始する前に、まずPDP1を完了させるべき。
- PPSAI IRT
 - RrSGの主要懸念はICANN文書上「リセラー（Reseller）」と「アフィリエイト（Affiliate）」が同一扱いされている点
 - リセラーはレジストラのプラットフォームを利用する独立事業者であり、企業関連会社（affiliate）とは法的・運用的に異なる
 - この定義の混同により、プライバシー/プロキシサービス義務の適用範囲が不明確になるとの懸念がRrSG内で共有された
 - GAC会合でも同様の論点が取り上げられ、レジストラ側の立場として報告済み

レジストリ・レジストラ共通

...



次の重要日程:

- 4月27～28日 : CP Summit (マンチェスター)
- 4月30日 : 2026年新gTLD申請ウィンドウ開始
- ICANN86 セビリア : 申請ウィンドウ開始後の初会合

THANK YOU



お問い合わせ

gTLD@interlink.ad.jp